

つくば医工連携フォーラム2018 2018年1月26日（金）

プログラム：一般演題（口演） Oral presentation

会場：B会場（2階・大会議室）

*は研究奨励賞の対象演題です

10:50～11:50 一般演題(口演)1医療機器（検査・診断）				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
10:50-11:00	* O1-1	野崎良寛	筑波大学	心磁計の胎児不整脈への応用
11:00-11:10	O1-2	稲葉武	筑波大学附属病院	筑波大学病院における心臓磁気計測(心磁図)の臨床応用
11:10-11:20	* O1-3	日下部涼子	筑波大学大学院	細胞形態に基づく腫瘍内不均一性の解析
11:20-11:30	* O1-4	Babita SHASHNI	Tokyo University of Science	Size- and Software- Based Differentiation of Normal and Cancer cells
11:30-11:40	* O1-5	星野勇太郎	東邦大学大学院	転移学習による膀胱癌の内視鏡診断の客観的評価
11:40-11:50	O1-6	鷲尾利克	産総研	MR撮像におけるLine Sampling CSとZero-Fill Interpolationとの比較

14:30～15:20一般演題(口演)2生体材料				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
14:30-14:40	* O2-1	佐藤稜	東京理科大学大学院	電圧印加によるコンドロイチン硫酸/キトサン複合フィルムの分子透過性制御
14:40-14:50	O2-2	寺本英敏	農業・食品産業技術総合研究機構	クリック反応によるシルク基盤上への細胞パターンニング
14:50-15:00	O2-3	飯島一智	東京理科大学	マイクロ流体技術を用いた細胞担持多糖中空ファイバーの一段階作製
15:00-15:10	O2-4	前田英仁	鹿児島大学	医用ミニマタの胃ESD後潰瘍における組織接着性ヘキサニル化セラチン多孔シート的作用

15:30～16:10一般演題(口演)3その他				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
15:30-15:40	* O3-1	黒川宏美	筑波大学	エリスロポエチン前投与がもたらす抗がん剤増強効果に関する研究
15:40-15:50	* O3-2	山本翔太	物質・材料研究機構	金ナノ粒子固定化上皮成長因子の特異的アポトーシス誘導活性に対する脂質ラフトの役割
15:50-16:00	* O3-3	古垣達也	筑波大学大学院	人工肺が血小板機能におよぼす影響
16:00-16:10	O3-4	小島桂	農研機構	scFvを発現する組換えシルク"アフィニティーシルク"のELISAアッセイ系への適用

16:20～17:00一般演題(口演)4医療機器（治療）・その他				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
16:20-16:30	O4-1	谷中昭典	筑波大学附属病院	抗酸化食品成分スルホラファンによる消化器疾患の予防
16:30-16:40	O4-2	熊田博明	筑波大学	リニアック型BNCT治療装置の実用化に向けた開発
16:40-16:50	O4-3	岡田俊之	筑波大学	U-netを用いた3次元腹部CT画像からの複数臓器抽出
16:50-17:00	O4-4	大城幸雄	筑波大学	肝臓手術ナビゲーションの最先端と新規開発

【発表方法】

- (1) 発表時間は 1題10分（発表7分／質疑応答2分／交代1分）です。
 ・時間経過は、以下の合図でお知らせします。進行に遅れが出ないようにご協力をお願いいたします。
 ⇒第1鈴：発表終了1分前（ベル1回）、第2鈴：発表終了時（ベル2回）、第3鈴：質疑応答終了時（ベル3回）

(2) PC発表についての注意事項・発表データについて

- ・事務局で発表用PCを各会場に用意いたします。OS：Windows10、使用ソフト：PowerPoint2016がインストール済みです
- ・発表データはUSBフラッシュメモリでご持参下さい。お持込になるUSBフラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- ・発表データは、セッションの休憩時間に、各自で舞台上の事務局の発表用PCにコピーしてください。発表データは会期終了後、事務局にて消去いたします。
- ・フォントは文字化けを防ぐため以下のフォントを推奨します。

推奨フォント / 日本語の場合: MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝 / 英語の場合Century、Century Gothic

・Macをご使用の場合、または動画を使用する場合はご自身のPCをご持参ください。

・液晶プロジェクタとお持ち込みのパソコンとの接続は、D-sub15ピン端子（別名：アナログRGB端子・VGA端子）となります。

これ以外の外部モニター接続端子のPCをお持ちの場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。（次ページに続く）

ミニD-Sub 15ピンコネクタ



(3) 利益相反 (COI) 開示について

利益相反の有無にかかわらず、全ての発表者に開示していただきますようお願いいたします。

様式は自由です。次の内容を参考に記載をお願いいたします。

▶開示すべきCOIがない場合：スライドの冒頭に掲示してください

例) 「筆頭発表者の利益相反：開示すべき事項なし」

例) 英語：I have no COI with regard to our presentation.

▶開示すべきCOIがある場合：

例) 「筆頭発表者の利益相反：開示すべき利益相反状態は下記のとおりです」

①受託研究・共同研究：〇〇製薬

②奨学寄付金：〇〇製薬

③報酬：なし

例) 英語：Matters requiring disclosure of COI with regard to our presentation are as follows;

Research founding：〇〇 Pharma Co. Limit.

Acceptance of Researchers：〇〇 Pharma Inc.

【研究奨励賞について】

・対象はポスドクおよび学生です。

・受賞者の発表は、17:00からA会場（講堂）にてスライドでお知らせいたします。また、受付横の掲示板上にも掲示いたします。

・表彰は懇親会で行います。受賞者は懇親会へ無料ご招待いたします。

つくば医工連携フォーラム2018 2018年1月26日(金)
 プログラム：ポスター示説1～4 Poster presentation
 会場：C・D会場(1階・中・小会議室)

* は研究奨励賞の対象演題です

13:00～14:20 一般演題(ポスター)1:生体材料-1				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
13:00-13:06	P1-1	大矢根 綾子	産業技術総合研究所	歯周組織再生療法のためのコラーゲン多孔質足場材へのバイオミメティックアパタイト成膜
13:07-13:13	* P1-2	GuowenQian	産総研	Modifying in situ self-hardening calcium phosphate cement with three-dimensional plotted poly(lactic-co-glycolic acid) network and
13:14-13:20	P1-3	屋代英彦	産総研	レーザーアブレーションによるハイドロキシアパタイト結晶膜の存在比の評価
13:21-13:27	* P1-4	島浩人	東京工業大学	硫化亜鉛をアパタイト表面に複合化したナノ結晶の作製
13:28-13:34	* P1-5	伊藤清佳	法政大学大学院	炭酸アパタイト被覆WE43のin vitro 骨形成能評価
13:35-13:41	P1-6	欠端雅之	産業技術総合研究所	フェムト秒レーザー表面修飾シリコニアセラミックスのインプラント応用に向けた曲げ強度評価
13:42-13:48	* P1-7	Kelvin O. Moseti	Tokyo University of Agriculture and Technology	Water-stable Samia cynthia ricini silk gland fibroin films for biomedical applications
13:49-13:55	P1-8	吉岡太陽	農研機構	アミロイド線維様・コイルドクロスβシートから成る新しいシルク素材
13:56-14:01	P1-9	秦珠子	農研機構	家蚕の絹糸腺からの不溶性フィルム調製に関する新提案

13:00～14:20 一般演題(ポスター)2:生体材料-2/ナノバイオ/DDS				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
13:00-13:06	* P2-1	大内創介	物質・材料研究機構	形状記憶特性を利用した新たな骨腫瘍治療用スマートパルーンの開発
13:07-13:13	* P2-2	宇都甲一郎	物質・材料研究機構	医療工学応用を指向した機能性形状記憶高分子材料の開発
13:14-13:20	* P2-3	橋本薫	早稲田大学	がん光熱療法用ナノ材料の合成
13:21-13:27	* P2-4	Xiuhui WANG	University of Tsukuba	Preparation of composite scaffolds of gelatin and gold nanorods for photothermal cancer ablation
13:28-13:34	P2-5	中村真紀	産業技術総合研究所	マクロファーゼイメーキングのためのリン酸カルシウム複合ナノ粒子のone-pot合成
13:35-13:41	P2-6	三澤雅樹	産業技術総合研究所	金ナノ粒子放射線増感剤の細胞取込みと活性酸素発生
13:42-13:48	* P2-7	新山瑛理	筑波大学大学院	がん治療のための交流磁場応答型薬物放出ナノファイバーの設計
13:49-13:55	* P2-8	錦織桜子	東京工業大学	薬物送達システム用の中空アパタイトナノ粒子の作製
13:56-14:01	P2-9	谷中淳	国立大学法人筑波大学	動的分子間力分光を用いた異なる環境下における機能性分子間相互作用ポテンシャルの解析

13:00～14:20 一般演題(ポスター)3:医療機器(検査・診断)/(治療・治療支援-1)				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
13:00-13:06	* P3-1	植木貴道	首都大学東京大学院	梨状筋MR Elastographyにおける体位変化の影響
13:07-13:13	* P3-2	五十嵐佳佑	首都大学東京大学院	MR Elastographyを再現性良く行うための加振パッド開発
13:14-13:20	* P3-3	波部哲史	首都大学東京大学院	腹臥位と仰臥位における大腰筋MR Elastographyの比較
13:21-13:27	P3-4	緒方邦臣	株式会社日立製作所	心磁図マーカーコイルの開発及び位置精度の評価
13:28-13:34	* P3-5	後藤大輝	横浜国立大学	モノピポット遠心血液ポンプにおけるインペラ流路の断面積および本数がポンプ特性に与える影響の検討
13:35-13:41	* P3-6	野村理博	筑波大学大学院	生活習慣病の予兆発見のための簡便な触覚モニタリングシステムの試作
13:42-13:48	* P3-7	内藤麻美	筑波大学	血中β-カロテン値は白血球数と関連し、野菜飲料摂取による増加量は初回値に相関した
13:49-13:55	P3-8	西口昭広	物質・材料研究機構	消化器がん術部に強固に接着する噴霧型創傷被覆粒子の開発
13:56-14:01	* P3-9	柘植美礼	東京理科大学大学院	緊急時にも利用可能な携帯型血液透析代替システムの実現に向けた高吸水性ナノファイバーの開発

13:00～14:20一般演題（ポスター）4：医療機器（治療・治療支援-2）/食品・福祉・その他				
発表時間	演題番号	氏名	所属	演題名
13:00-13:06	P4-1	高木亮	産業技術総合研究所	強力集束超音波治療モニタリングにおけるエレベーション方向の変位追従を目的とした新規1.5Dアレイ超音波プローブの開発
13:07-13:13	P4-2	葭仲潔	産業技術総合研究所	モジュール組み込みによる超音波照射装置の開発
13:14-13:20	* P4-3	楊英俊YingjunYang	筑波大学	Manipulation of Mesenchymal Stem Cell Differentiation on Nano/Micro Hybrid Patterned Surfaces
13:21-13:27	* P4-4	野村奈生人	物質・材料研究機構	低所得国で利用可能な感染症バイオマーカー新規精製法の開発
13:28-13:34	* P4-5	白林潤	筑波大学大学院・産業技術総合研究所	立体音響を利用した視覚障害者の対象物提示システムの実証実験
13:35-13:41	* P4-6	安藤貴彦	筑波大学大学院	機能性表示食品の茶系飲料の現状に関するデータベース調査
13:42-13:48	* P4-7	大葉諒介	筑波大学	明日葉成分キサントアンゲロールの男性生殖機能障害に対する改善作用
13:49-13:55	P4-8	大久保真貴	筑波大学附属病院	抗がん剤のDrug Vial Optimization導入に向けたシミュレーション
13:56-14:01	* P4-9	中山智仁	筑波大学大学院	超短パルスレーザーを用いたカーボンナノチューブ-タンパク質複合体の振動エネルギー伝達の研究

【発表方法】

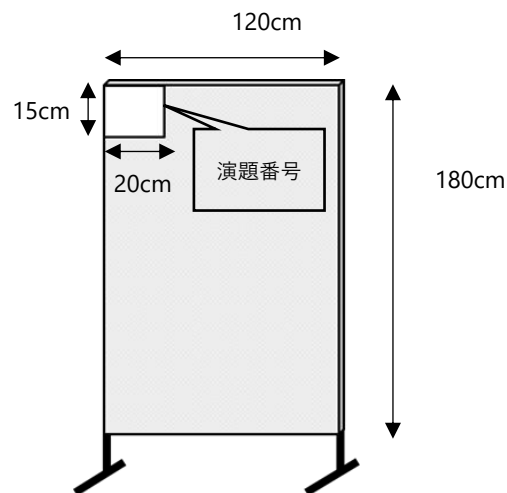
- ・発表時間は1題6分（発表4分／質疑応答2分）です。
- ・タイムキーパーはつきません。座長の進行に従ってご発表ください。

（1）ポスター掲示について

- ・ポスター番号を確認して指定の場所に貼付してください。（8：50-9：50）
- ・ポスター貼付は、画鋏での貼り付けとなります。（画鋏は大会事務局にて用意いたします。）
- ・撤去時間（16：30-17：50）を過ぎて掲示してあるポスターは大会事務局で処分させていただきます。

（2）ポスターのサイズと様式について

- ・ポスターボードの掲示部は、1発表あたり 縦180cm×横120cmです。この範囲に収まるようポスターを作成してください。
- ・ボード左上隅の縦15cm×20cm部分に演題番号を貼り付けておきます。ポスター番号は外さずに、そのまま掲示してください。



（3）利益相反（COI）開示について

利益相反の有無にかかわらず、全ての発表者に開示していただきますようお願いいたします。様式は自由です。以下の内容を参考に、ポスター内に記載をお願いいたします。

▶開示すべきCOIがない場合：

例）「筆頭発表者の利益相反：開示すべき事項なし」

例）英語：I have no COI with regard to our presentation.

▶開示すべきCOIがある場合：

例）「筆頭発表者の利益相反：開示すべき利益相反状態は下記のとおりです」

①受託研究・共同研究：○○製薬

②奨学寄付金：○○製薬

③報酬：なし

例）英語：Matters requiring disclosure of COI with regard to our presentation are as follows;

Research funding：○○ Pharma Co. Limit.

Acceptance of Researchers：○○ Pharma Inc.

【研究奨励賞について】

- ・対象はポスドクおよび学生です。
- ・受賞者の発表は、17:00からA会場（講堂）にてスライドでお知らせいたします。また、受付横の掲示板にも掲示いたします。
- ・表彰は懇親会で行います。受賞者は懇親会へ無料ご招待いたします。